

鎌倉幕府最大の危機は承久3（1221）年に勃発した承久の乱だった。朝廷を統べる後鳥羽上皇が鎌倉幕府に不満を持ち、挙兵したのである。朝廷の軍力は幕府の軍力には全く及ばないものだった。にもかかわらず、後鳥羽上皇が挙兵を決断したのはなぜか。実は後鳥羽上皇は「倒幕（幕府打倒）」を言っていない。鎌倉幕府の御家人たちに対し、源頼朝の妻北条政子の弟である鎌倉幕府執権の北条義時の追討を

北条政子  
「その恩、既に山岳より高く  
溟渤より深し」  
より

## 北条政子



横浜市南区の乗蓮寺にある北条政子の座像(乗蓮寺提供)

## さすがの政治センス

命じている。後鳥羽上皇は討伐対象を義時に絞ること、多くの御家人が幕府を裏切る事態を期待していた。そこで幕府は頼朝の代將軍の源実朝が暗殺され、犯人の公暎（実朝の頼朝直系の子孫は鎌倉からいなくな

年。すぐに將軍にはなれず、後見役の政子が「尼將軍」として力を振るった。鎌倉幕府の創始者である頼朝に任えた御家人たちにとって、頼朝の子孫に忠誠を尽くすのは比較的「解しやす」ことだが、攝關家出身の幼児に忠誠を尽くせと言われても、なかなか納得できるものではない。中には強く反発した御家人もい

時追討令に動揺する御家人たちを前に、政子は演説を行ったという。「皆、心を一つにして聞きなさい。これが私の最後の言葉です。亡き頼朝公が朝廷に齒向かう平氏を征伐し、鎌倉幕府を開いてから、は消滅してしまっている。だからこそ後鳥羽上皇に与えた御恩は、既に山よりも高く海よりも深いものです。恩に報いようというあなたたち御家人の気持ちはどうして浅いことがあつたらうか。ところが、今、悪い考えを持つ臣下にだまされた後鳥羽上皇が誤った命令を出されました。名譽を重んじる御家人は早く藤原秀康、三浦胤義らを取らぬ、3代にわたる將軍が残した幕府を守るべきです。ただし後鳥羽上皇に味方したいと思う者は、今ここで申し出なさい。この場で申し出なさい。つまずき、頼朝から受けた御恩の大きさを御家

1. 北条政子の「その恩、既に山岳より高く溟渤（めいぼつ）より深し」という言葉は、後鳥羽上皇が鎌倉幕府に不満を持ち、挙兵した戦いの前に、御家人に対して述べた言葉とされる。その戦いの名称を書きなさい。
2. 後鳥羽上皇は「倒幕（幕府打倒）」を宣言せずに、当時の鎌倉幕府執権を追討することを御家人に対して命じている。当時の執権で追討を命じられた人物名を書きなさい。
3. 記事の  にあてはまる歴史書の名称を書きなさい。
4. 北条政子の「その恩、既に山岳より高く溟渤（めいぼつ）より深し」はどのような意味ですか。記事の中から抜き出しなさい。
5. 本来、御恩と奉公の関係とは、將軍と御家人という個人対個人関係を指したが、北条政子は頼朝という特定個人への奉公を何への奉公にすり替えたかと書かれていますか。抜き出しなさい。
6. 北条政子の言葉の他に、あなたが日本の歴史や世界の歴史を変えたと思う名ぜりふを探してみましょう。

年 組 名前